



1~5……特集 「あなたを支える」

6……救急ワークステーション試行運用開始

7……二次救急実施病院

8……とれたて! なばり2016

発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1

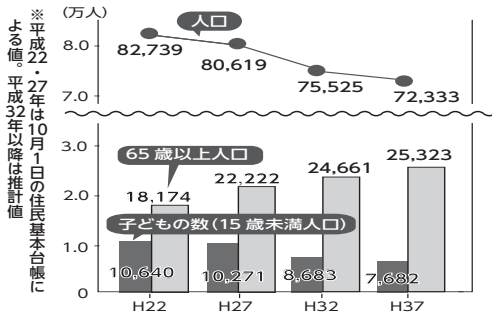
☎ 0595-63-7402

✉ pr@city.nabari.mie.jp

🌐 http://www.city.nabari.lg.jp

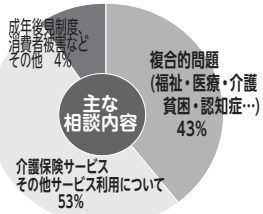


市の人口と65歳以上と子どもの数の推計



地域包括支援センター相談内訳(平成27年度)

地域包括支援センター
相談 788件
介護サービスの相談以外は、さまざまな課題が複合している内容が多い。



地域福祉教育総合支援システム

特集

あなたを支える

このまちで生き、このまちで支える。連携システム

少子高齢化そして核家族化が進むと、生活課題は複雑化し、周りが気付かず、解決が困難なケースが増えてきます。本市では、今以上に地域や関係機関と連携した取り組みを進め、支援が必要な人をまち全体で支える地域福祉教育総合支援システムを立ち上げます。

☎ 地域包括支援センター 63・7833

少子高齢化で増える課題

全国的に少子高齢化が進み、核家族化や高齢者のみの世帯や単身者が増えています。本市も例外ではありません。今後は、人口が減少し、急激に高齢化が進んでいきます。

さらなる連携を進める

人口が減少し、少子高齢化が進むと、福祉や防犯、防災など地域を取り巻く課題が複雑化していきます。「自分や家族のこと

は自分で守る」それができないだけでなく、制度や法律だけでは解決が難しく、さまざまな課題を複合的に抱えるケースも多くなり、相談が増えていきます。

市では、地域づくりと一体化した地域福祉や住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるための地域包括ケアシステムを進めています。

今後、増えていく複合的な生活課題や制度の谷間に行政が踏み込みにくい課題は、行政だけが対応するものでも、地域に任せるものでもありません。地域と行政や専門機関とが協働して課題解決の「カタチ」を創り上げなければなりません。関係機関とのネットワークをつなぐため、調整する役割も必要です。

支援が必要な人にワンストップで応え、地域全体で支える体制が求められています。

2ページ以降に続く

地域福祉教育総合支援システム
特集

あなたを支える

解決が困難な複合的な課題を抱えた場合、1カ所の相談機関だけでは解決に時間が掛かる場合があります。相談者に対しワンストップの窓口で応対する包括的相談員(エリアディレクター)を配置し、寄り添い支援を強化します。地域のネットワークを充実させて、皆で支える仕組みが「地域福祉教育総合支援システム」です。

児童相談所

子どもたちの課題は増加傾向



伊賀児童相談所 高山 大^{ふとし} さん

子どもの虐待相談件数は年々増えており、貧困なども社会問題になっています。核家族化が進み、育児不安や必要な支援が届いていないと感じる家庭が増えているのだと思います。

不登校やいじめ相談は、スクールカウンセラーの巡回により現場で問題が解決できる仕組みもできてきました。児童相談所だけで子どもたちを見守ることはできません。地域、関係機関の皆さんと連携を進めて解決していきたいです。

警察

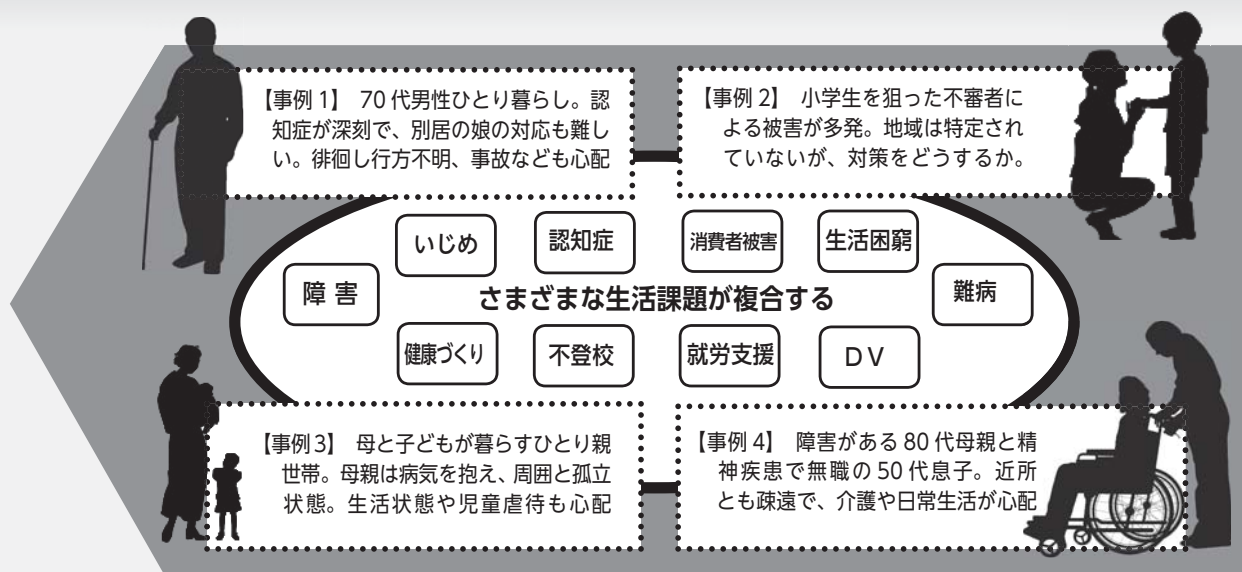
還付金詐欺等の被害が多発



名張警察署 生活安全課 森下 睦巳^{むつみ} さん

今年の7月以降、還付金詐欺等の被害が多発しています。いずれも高齢者を狙ったもので、公的機関の職員を装い電話を掛け、ATMからお金を振り込ませる手口です。また、認知症の高齢者が徘徊して行方不明になる相談もよくあります。

これらの事件は、相談できる人やご近所のつながりがあると未然に防ぐこともできますし、大きな事件になる前に解決できることもあります。行政や地域の皆さんの協力が不可欠です。



解決が困難な複合的課題

社会福祉協議会

生活困窮状態を脱出させたい



名張市社会福祉協議会 福井 浩司^{ひろし} さん

働きたくても働けないなど、さまざまな生活課題を抱える人が、安心して暮らせるように、生活上での悩みについて、自立相談支援を行っています。相談を受けて、どのような支援が必要かを一緒に考え、具体的な支援プランを作成し、寄り添いながら支援を行っています。

誰にも相談できずに困り果て、経済的に困窮する人が増えています。こうした状況には、地域の関係機関・関係者が連携し、チームによる支援を進めたいと思います。

郵便局

業務の中で地域の見守りを実践



名張郵便局 今西 哲也^{てつや} さん

業務の中で、郵便配達時に地域の中で異変を感じたときや特に高齢者のお宅などで普段と様子が違うと感じたときに行政へ報告する「地域の見守り活動に関する協定」を市と結んでいます。今のところ大きな問題があって報告したケースはありません。しかし、窓口業務の中で、認知症の症状がある高齢者が何度もお金を振り込もうとするのを不審に思い、市へ報告して、すぐに対応していただいたこともあります。毎日、地域を見ている私たちだからお役に立てることもあると思います。

地域包括 支援センター

包括的相談員が各関係機関との調整役になります

地域包括支援センターでは、高齢者・障害者の相談支援を行っています。また、まちの保健室では、子どもから高齢者までの初期相談窓口として対応しており、連携を取り合いながら支援を行っています。

最近では、複合的な課題を抱えている人が多くなっています。地域包括支援センターだけで解決することが難しく、関係機関と連携を取りながら解決に向けて進めています。しかし、制度や専門分野・担当所管が違うため、一つずつの課題を縦割りのに対応することは時間が掛かります。できるだけ、短い時間で解決することが本人や家族にとって安心して住み慣れた地域で生活することにつながります。

この複合的な課題に対して、さまざまな機関と調整する役割を担うのが包括的相談員（エリアディレクター）です。

今後、日ごろから地域ごとのネットワークが円滑に保つ関係づくりを大切にしていきます。

地域包括支援センター
(包括的相談員)

山崎 美穂



地域福祉教育総合 支援システム

相談者に対し、ワンストップ窓口で応対する包括的相談員（エリアディレクター）を配置し、寄り添い支援を強化します。

地域のネットワークを充実させ、個人情報保護を徹底しながらも、包括的相談員の調整のもと地域の課題を検討する各種会議を実施し、地域で解決策を検討していきます。

エリアネットワーク



福祉

民生委員・児童委員
保護司
更生保護女性会
社会福祉協議会
福祉後援サポートセンター
児童相談所
特定相談支援事業所
福祉施設
介護事業所 など

地域づくり組織

老人クラブ、PTA、子ども会など含む

医療

在宅医療支援
センター
医師会
歯科医師会
薬剤師会
医療機関 など

教育

学校
教育センター など

各種関係団体

人権擁護委員
有償ボランティア
市民センター
警察
NPO 法人
郵便局
ハローワーク
青少年育成市民会議
企業 など

地域包括支援センター

包括的相談員
(エリアディレクター)



情報共有

まちの保健室



ワンストップ窓口で対応

まちの 保健室

地域の中で気軽に相談できる場所です

まちの保健室は、地域の中でいつでも気軽に相談できる場所です。私たちが全ての問題を解決するものではありません。各関係機関へのつなぐ役割をしながら、これからも地域を支えていきたいです。

市内に15あるまちの保健室では、地域の人口構成などの特徴に沿った見守り支援や健康福祉の総合相談を行っています。

箕曲地域は、高齢者が多い地域ですが、集合住宅が増え若い世代も徐々に増加している地域です。日々の訪問や相談対応以外にも、高齢者サロンなどで介護予防や健康づくりの話をさせていたでています。地域の皆さんに顔を覚えていただき、「あの人の人なら」という信頼関係を築くことを一番に考えています。

話を聞くことで心を開いてくれたり、人との関わりが苦手な人も顔を合わせたときに連絡をくれたりします。

箕曲地区まちの保健室

齊藤 久美子
下野 亜子



地域福祉教育総合支援システム
特集

あなたを支える

地域ごとに関係機関との協働・連携・調整・相談・ニーズ把握・情報を共有することで、大きな問題になる前に未然に防ぐことができるかもしれません。これからも地域全体であなたを支えていきます。

地域づくり

隣近所や地域で支え合うことは、
まちづくりの原点です。



比奈知地域が開設した「なごみ」は地域の憩いの場。幼児～高齢者が交流でき、カフェスペースもある。

地域ビジョンの一つに掲げていた地域の支え合い・交流の場としての施設「なごみ」を今年8月にオープンさせることができました。子どもから高齢者まで、いつでもだれでも利用でき、人が集まる、人が人を呼ぶそんな施設を目指しています。

日ごろから、暮らしやすいまちにするためには、女性と若い人の力が必要だと思っています。女性は、地域のことをよく知っている。ご近所の小さな変化を感じ「様子がおかしい」というときには、私や民生委員などにも連絡してくれます。若い人は、地域の活性化の担い手、継続したまちづくりを進めるためにも大事な存在です。子育て世帯を応援し、つながりを持ちたいですね。また防災でも女性

ひなち地域ゆめづくり委員会 会長

中野 修一さん



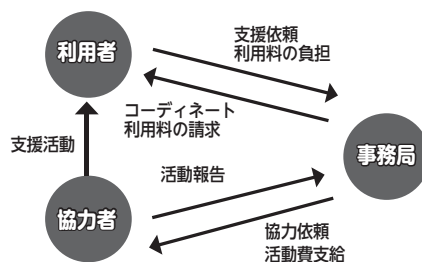
と若者がポイントになります。今年の防災訓練では、避難所開設や安否確認、児童引き渡しなど地域と小学校とで一緒に実施することになりました。学校や保護者とはイベントなどでも連携していきたいです。

隣近所や地域は、顔の見える関係です。地域で支え合うということはまちづくりの原点だと思います。

こんなこと
やってるよ

困りごとを地域で解決 地域支え合い事業

「電球が切れたけど交換できない」「庭木の剪定が大変で…」高齢になると日常生活のちょっとしたことが困難になります。住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、住民同士が有償ボランティアとして支え合う仕組みが、市内7カ所の地域で実践されています。駅やスーパーへの移動支援を行っている地域もあります。



民生委員 児童委員

会話から地域を元気に、つながりを大切にしていきたい。

私の担当する地区は、200世帯あまりで、そのうちひとり暮らしの高齢者など見守りが必要な人は、約30人います。「次のサロンも来てな」「振り込め詐欺がはやってるから気を付けてな」「最近具合はどう?」そんな会話から2時間くらい話し込んでしまうこともあります。顔を合わせて話すことは大事です。最後は「何かあったら電話ちょうだいね」とすぐに駆けつけることを伝えています。

高齢者が多い地域ですので、民生委員は、どうしても高齢者への見守り活動が中心になります。しかし最近では、主任児童委員とともに赤ちゃんが生まれたお宅を訪問しています。新しいお母さんに顔を覚えてもらって、声を掛けてもらうこともあります。地域の子どもの成長を感じることができると、うれしいことです。若い世代や子どもたちも応援したいですね。

他の地域の活動と比べると、まだまだだと思います。私一人ではできないですし、皆さんに協力をしていただいています。多くの人のつながりの輪が大切で、これからも地域と寄り添ってまいります。

錦生・赤目地区民生委員会 会長
藤村 純子さん



こんなこと
やってるよ

主任児童委員による「こんにちは。赤ちゃん訪問」

地域の主任児童委員は、生後、2か月までの赤ちゃんの家を1軒ずつ訪問しています。「分からないことは何でも相談してね」と声を掛けながら、子育ての制度や予防接種のこと、地域で開催される広場や相談先などを紹介しています。



こんなこと
やってるよ

子育てママを手助け 乳幼児の預かり「みはた すくすく」

美旗地域の民生委員を中心とした地域のボランティアの皆さんが、一時的に乳幼児を預かる子育て支援の取り組みを10月から本格的にスタートさせました。子育て中のお母さんに自分の時間やゆとりを持ってもらおうと支援する取り組みです。



名張だからできる画期的な仕組みです

名張市が進める地域福祉教育総合支援システムは、まちの保健室や地域づくり組織が機能している名張だからできるもので、福祉行政として極めて画期的な取り組みだと思います。

日本の福祉行政は、高齢者・子ども・障害者という対象別に考え、そこからさらに高齢者の認知症や介護対策、子どもの保育や虐待対策、障害者の施設や雇用対策など、専門分野や制度も分かれていて、

それぞれで解決策を探します。

また、何か起きてから対応するのが基本で、要介護の判定が出たから介護保険で対応する。児童虐待が発生したから児童相談所で対応するという感じです。子どもの貧困問題などは、原因の一つではありません。浪費癖があるからとか、仕事に就けないだけではなく、母親が精神障害があるとかDVを受けている、虐待など複合的な要因があります。

福祉行政の現状から見て、名張市のこのシステムは、家族・世帯に焦点を当てて、ワンストップで解決していこうとする仕組みになっています。未然にその危機を防止するための対策が取れるという点でも大いに期待したいです。

児童相談所、警察など県の関係機関が協力できるように、最大限やっています。



三重県知事
鈴木 英敬

知事と市長の1対1対談

連携を強化

8月に子どもセンターで行われた市長と知事による「1対1対談」では、「まちじゅう元気」をテーマに話し合いが進められました。

市が進めようとする「地域福祉教育総合支援システム」を市長が紹介し、知事は連携強化を約束しました。

市では、総合計画に掲げる「福祉の理想郷」の集大成として「地域福祉教育総合支援システム」の構築に向けた体制整備を進めています。

さまざまな福祉相談に対し、ワンストップで対応すると同時に行政や関係機関とのネットワークを強化し、地域の課題解決にあたる包括的な支援体制の仕組みです。また、教育や子育てについても学校だけではなく、市民総ぐるみで

やるべきものだと思います。システムの中に「教育」を入れました。

私は、近接補完の原則を貫いてまちづくりを進めてきました。まず個人でできることはやる(自助)できないことは隣近所で助け合う(互助)、それでもできない場合は自治会や地域で助け合う(共助)、それでもかなわない場合は、市民の皆さんと市とが協働でやる。まだ無理な場合は、県や国も交えて一緒にやりましょうというもので

す。名張は、住民熟度が高まり、まちづくりの土台ができ、皆さんと信頼関係が生まれて課題解決ができるようになりました。

人口減少や高齢化が進む中、社会保障制度をいかに持続あるものにしていくか考えていかなければなりません。やれることは皆さんと知恵を出し合い、協力し合って発展させていきたいと思います。

福祉や教育を総ぐるみで知恵を出し合う



名張市長
亀井 利克

名張市地域包括ライフシステム 名張市地域福祉教育総合支援システムキックオフ大会 ～教福連携名張サミット～

入場無料
申込不要

☎ 地域包括支援センター ☎ 63-7833

日時 11月13日(日) 午後2時～

場所 アドバンスコープADSホール

住み慣れた地域で安心して暮らすために、妊娠・出産・子育て世代から高齢者世代まで、人生それぞれのステージに対応し、地域と多くの関係機関による福祉や子育て、教育などの包括的支援体制の必要性を考えます。

コメンテーター

鈴木 英敬 三重県知事
定塚 由美子さん(厚生労働省 社会・援護局長)
西井 知紀さん(文部科学省生涯学習政策局社会教育課長)
小引 福夫さん(地域づくり代表者会議会長)
亀井 利克 名張市長

第46回名張市社会福祉大会 午後1時～2時
社会福祉の発展に功績のあった団体や個人を表彰します

コーディネーター

永田 祐さん(同志社大学社会学部准教授)

☎ 社会福祉協議会 総務課 ☎ 41-0780

消防と市立病院が連携し救命率の向上を目指す！ 名張市救急ワークステーション 試行運用開始

☎ 名張消防署 救急室 ☎ 63 - 0997



近年、救急救命士が行う救命処置の範囲が拡大されており、救急隊員たちの救命技術の向上が求められています。市では、救急隊員の知識・技術向上を目的とした救急ワークステーションの試行運用を開始します。

■ 救急ワークステーションとは…

救急隊員 3 人が救急車で市立病院に出向き、病院内の救急処置室や、医師などが同乗する場合の救急車などで、観察要領などの基礎実習や心肺蘇生、点滴、薬剤投与などの救命処置実習を行うものです。

また、実習中でも救急車の出動要請があれば市立病院から出動する準備も整えていますので、救急体制を維持しながら病院での実習を行うことができます。



■ 試行運用期間

11 月 10 日～平成 29 年 3 月 30 日毎週木曜日午後 1 時～5 時(平日)
※平成 29 年 1 月から時間を午前 9 時～午後 5 時へ拡大
※平成 29 年 4 月から毎週水・木曜日午前 9 時～午後 5 時の本格運用を予定

医師などから指導を受け、処置技術の向上を目指します

救急ワークステーションでは、私たち救急隊員は医師などから直接指導を受けることになります。傷病者に対する初期の治療だけでなく、その後の経過を含めた実習を行うことは、救急救命士を含む救急隊員の能力向上や、医師と隊員の顔の見える関係づくりにもつながります。

この新たな取り組みを生かして、市民の皆さんに、よりレベルの高い救急サービスを提供し、救命率向上を目指していきたいと思っています。



名張消防署 救急救命士
大林 和彰

日本の文化を英語で発信 国際交流イベントを開催

つつじが丘小学校と南中学校が取り組む小中一貫教育のプログラムの一つです。

子どもたちが、外国人や地域の皆さんに日本の伝統文化を英語で伝えます。ぜひ、ご覧ください。

日時 11月20日(日) 午後0時45分～3時30分

場所 つつじが丘市民センター

内容 和太鼓の演奏、能の舞、

忍者・茶道などの体験

◎参加無料。申込不要

☎ 南中学校 ☎ 68 - 0022



「三重大学医学部医学科推薦 入試地域枠B」推薦希望者募集

地域医療に携わる医師を確保するため、三重大学医学部医学科推薦入試「地域枠B」の出願者を募集します。

※出願は市長の推薦が必要となります。

推薦要件 次の全ての要件を満たす人

①三重大学の推薦要件を満たす

②扶養義務者が市内に3年以上居住している

③卒業後、県内で地域医療に携わることを確約ができる

推薦枠 2人以内 選考方法 面接

申込 10月26日(金)から11月15日(金)までに、推薦依頼書などの必要書類を揃えて、学校を通じて、問い合わせ先(〒518-0492 鴻之台1-1)に持参または郵送ください(期限必着)。

※持参の場合は土・日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時15分となります。

◎詳しくは、市ホームページおよび「三重大学推薦入試学生募集要項」をご覧ください。

☎ 医療福祉総務室 ☎ 63 - 7579

地域の課題をみんなで学ぶ連続講座 「SAT つなげよう名張！」参加者募集

防災、教育などの課題を企業やNPO団体と協力して解決する仕組みを実践的に学ぶ全2回の連続講座です。

開催日/場所

11月12日(土)/武道交流館いきいき(蔵持町里)

11月26日(土)/防災センター(鴻之台1)

いずれも時間は午後2時～4時

講師 松井 真理子さん(NPO法人市民社会研究所代表理事)

定員 30人 ※先着順。参加無料

申込 11月11日(金)までに、電話で問い合わせ先へ

☎ 市民活動支援センター ☎ 63 - 5325

「青色決算」、[年末調整] 説明会開催

■ 所得税の青色申告決算等説明会

日時 11月17日(木) 午後1時30分～3時30分

場所 ハイトピア伊賀3階(伊賀市上野丸之内)

日時 11月21日(月) 午前10時～正午

場所 防災センター(鴻之台1)

◎青色決算書用紙などは、国税庁ホームページから出力できます。

■ 平成28年分年末調整等説明会

日時 11月21日(月) 午後1時30分～3時30分

場所 防災センター(鴻之台1)

◎説明会の書類は、対象となる個人または法人に事前送付しますので、当日持参ください。

※防災センターへは、市役所駐車場をご利用ください。

☎ 上野税務署

白色・青色申告に関すること ☎ 21 - 0289

法人・年末調整に関すること ☎ 21 - 0953

ふるさと学習「なばり学」 協力事業所の募集

義務教育の中で、子どもたちにふるさとへ愛着を持ってもらうため、名張について知り学ぶ、ふるさと学習「なばり学」を創設します。



学習資料集には、自然、歴史、産業、伝統、文化、人に関する名張の自慢や魅力を掲載する予定です。

そこで、子どもたちの学習にご協力いただける市内事業所を募集します。

協力内容

▼児童生徒の見学 ▼職場体験学習の受け入れ

▼出前授業・講話 ▼教材のための取材 など

◎詳しくは、問い合わせ先へ

☎ 学校教育室 ☎ 63 - 7882



11月14日(月)～20日(日)は 全国一斉「女性の人権ホット ライン」強化週間

夫やパートナーからの暴力、職場などでのセクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為など女性の人権に関するさまざまな問題についての相談を電話でお受けします。相談は無料で、秘密は厳守します。

受付時間 午前8時30分～午後7時

※土曜日・日曜日は午前10時～午後5時

相談員 法務局職員または人権擁護委員

女性の人権ホットライン

(ゼロナザレのホットライン)

☎ 0570 - 070 - 810

☎ 津地方法務局人権擁護課

☎ 059 - 228 - 4193

伊賀地域二次救急実施病院

11月

医療福祉総務室
☎63-7579

実施時間帯

- ◆平日…午後5時～翌日午前8時45分
 ◆土・日曜日、祝日…午前8時45分～
 翌日午前8時45分
 ※ただし、岡波総合病院は、月曜日…午
 後5時～翌日午前9時/第2・4日曜日、
 祝日…午前9時～翌日午前8時45分
 ◆平日昼間午前8時45分～午後5時は、
 名張市立病院で二次救急を実施

日	月	火	水	木	金	土
		1 名	2 名/岡	3 名	4 上	5 名
6 名	7 岡	8 上	9 名/岡	10 名	11 上	12 上
13 岡	14 岡	15 名	16 名/岡	17 名	18 上	19 名
20 名	21 岡	22 上	23 名/岡	24 名	25 上	26 上
27 岡	28 岡	29 名	30 名/岡			

☆みえ子ども医療ダイヤル(☎ # 8000) …子どもの急病
 やケガの無料相談(毎日午後7時30分～翌日午前8時)

☆三重県救急医療情報センターコールセンター(☎64・
 1199) …24時間体制で受診可能な医療機関を紹介

◆救急車で搬送以外は必ず事前にご連絡ください。

名…名張市立病院(☎61・1100)
 上…上野総合市民病院(☎24・1111)
 岡…岡波総合病院(☎21・3135)

○受け入れ対象は、重症患者です。実施日以外は救急
 受け入れを行いません。○重症患者が重なるときは、受け入れできない場合
 があります。○名張市立病院小児科では、24時間365日小児二次
 救急の対応をしています。受入対象は重症患者です。
 けがおよび交通事故などの外科系疾患は除きます。

○かかりつけ医へ早めの受診を心掛けましょう。

「笑顔で認知症介護」
 みんなの介護教室参加者募集

日時 11月20日(日) 午後1時30分～

場所 新田公民館

内容 「家族・地域での認知症の方への接し方(講
 演)」、福祉用具の紹介・取扱い方◎参加無料。申込方法など詳しくは、問い合
 わせ先へ☎ 名張養護老人ホームみさと園(萩森・吉岡)
 ☎65-4943

こども支援センター かがやき健物

開館時間 午前9時
 30分～午後5時

※日・月曜日、祝日は休館

▼はじめて広場

11月4日(金) 午前10時30
 分～ はじめて利用する
 人が対象です。気軽に
 ご参加ください。松村 悠汰ちゃん
 (桔梗が丘西)

▼こんにちば広場

11月24日(木) 午後2時30分～3時30分
 「手洗いの仕方について」

みんなの手洗いをチェックしてみよう!

◎先着30組。申込は電話で問い合わせ先へ

▼親子で遊ぼう

11月5日(土) かがやきコンサート

サタパパコロバ企画 子ども虐待防止キャンペ
 ーン「オレンジバンド」によるミニコンサート11月11日(金) 企画ママパパによる「ミニ運
 動会」

11月12日(土) かがやきコンサート

「桔梗が丘中学校音楽部」による演奏会

11月26日(土) かがやきコンサート

「風の音」によるリコーダーアンサンブル

◎参加無料。時間は午前10時45分～11時30分

※11月11日(金)のみ開始時間は午前10時15分

▼避難訓練 11月2日(木) 午後2時～3時

来館者全員で行う避難訓練です。水消火体
 験や、消防車の展示、アンシンダーもやっ
 て来ます。☎ こども支援センターかがやき
 (桔梗が丘西3) ☎67-0250食について考えてみませんか?
 講演会参加者募集楽しく簡単に健康的な食生活を送るため、
 楽しく食べることを学びませんか。

日時 10月31日(月) 午後3時～4時

場所 市役所1階大会議室

演題 「健康な食生活」～目からウロコのラク
 ラクメニュー～

講師 秦 佐知子さん(料理研究家)

◎参加無料。申込不要

☎ 市民相談室 ☎63-7416

家族そろって参加しよう!
 桔梗が丘ほっとまちフェスタ子どもから大人まで楽しめるイベントをたく
 さん用意しています。自治協議会の活動紹介も
 行います。ぜひ、ご家族で参加ください。

日時 11月13日(日) 午前11時～午後4時

場所 桔梗が丘市民センター、桔梗の森公園

内容 健康づくり(骨密度測定、メタボチェ
 ックなど)、ビンゴ大会、スタンプラリー、
 無農薬野菜の販売、子どもの遊び広場 など

◎参加無料。申込不要

☎ 桔梗が丘自治連合協議会

(桔梗が丘市民センター内) ☎65-1206

保健センター(朝日町)での
 親子すくすく行事

☎ 健康・子育て支援室 ☎63-6970

1歳6か月児健診

● 27年4月生

11月1日(火)・8日(火)

● 27年5月生

12月6日(火)・7日(火)

3歳6か月児健診

● 25年5月生

11月15日(火)・22日(火)

● 25年6月生

12月13日(火)・20日(火)

生後9か月～18か月の離乳食教室

11月2日(木) 午後2時～3時30分 ※要予約

★乳幼児健康相談(同日 午前9時30分～11時受付)

助産師による母乳・育児相談

助産師による予約制の個別相談 ※要予約

11月4日(金)・18日(金) 午後1時30分～

11月11日(金)・25日(金) 午前10時～

◎希望の人は健康・子育て支援室(☎63-6970)

までお問い合わせください。

田舎の味おばあちゃん講座
 手打ちそばづくり参加者募集

日時 11月25日(金)・26日(土) 午前9時～正午

場所 武道交流館いきいき(蔵持町里)

講師 玉の腰そば打ち道場

対象 市内在住の人 参加費 1,500円

定員 各日16人 ※申込多数の場合は抽選

申込 10月26日(金)から11月1日(火)(消印有

効)までに、往復はがきに「手打ちそばづ
 くり希望」、参加希望日、住所、氏名、年
 齢、電話番号を書いて問い合わせ先(〒518
 -0492 鴻之台1-1)へ

※1人1枚で申込(複数人の明記は無効)

☎ 農林資源室 ☎63-7129

簿記会計基礎と3級講座
 受講者募集日時 12月18日、平成29年1月8日・15日・
 29日、2月5日 全て日曜日(全5回)

▼基礎 午前10時20分～午後1時35分

▼3級 午後2時20分～5時40分

場所 市民情報交流センター(希央台5)

対象 高校生以上の人 定員 20人 ※先着順

受講料 13,000円(テキスト代別途1,500円)

申込 11月25日(金)までに、電話で問い合わせ先へ

◎応募が定員に満たない場合は、金額など内容
 の変更があるか、中止場合があります。

☎ 名張市母子寡婦福祉会

☎090-7603-5634(藤原)

運動が苦手な人でも大丈夫!
 バレトン教室参加者募集バレトンとは、フィットネス・バレエ・ヨガ
 の3つの動きを取り入れたエクササイズです。日時 11月10日・17日、12月1日・15日
 全て木曜日 午後2時～3時(全4回)

場所 武道交流館いきいき(蔵持町里)

講師 森 嗣美さん(フィットネススタジオ Cute)

参加費 2,000円 定員 20人 ※先着順

持ち物 ヨガマットもしくはバスタオルなど

申込 武道交流館いきいき備え付けの申込用紙
 に必要事項を記入し、参加料を添えて同窓口へ

☎ 武道交流館いきいき ☎62-4141

読者の声

広報メールサポーターから…

9・2号掲載「保育施設の児童募集」について ▼大半のご家庭が希望する園に入れるように尽力してほしいと思います。

▼働くお母さんにとって保育所は一番の問題だと思います。安心して子どもを預け、希望の所に入れたら子どもももっと増えるのではないのでしょうか。

【お詫び】 広報なびり10月号Aページに掲載したバーナール11月の催しの中で、11月24日(木)・27日(日)に開催されるチャリティー展(絵画本の寄贈)の主催に誤りがありました。正しくは、「小林芳郎さん」です。お詫びして訂正します。 岡 福祉まちづくりセンター ☎62-7388

次号予告

名張市総合防災訓練

「仲間なんだから」

学生時代のアルバイト先での出来事です。勤務経験が3年を超えたところ、あるイベントの企画を任せられました。それまでスタッフとしてイベント運営を手伝うことはありましたが、「えっ、私、アルバイトですか」と辞退しようとしたのですが、店長の「そんなこと気にせず頑張って」と言葉に「分かりました」と引き受けました。「アルバイトなのに企画なんて」と不安とプレッシャーのなかスタートしました。



～人権尊重をくらしのなかに～

ご意見は人権・男女共同参画推進室(☎63・7909)へ

職場の人たちはそれぞれの担当業務に忙しそうで、声を掛けづらく、何よりも「引き受けた自分の責任なんだから、一人でやりきれない」という思いにとらわれ、自分で自分を追い詰めていってしまいました。どうしよう、もうだめだ、そんなとき、「一人で抱え込まないで相談してね」「責任感が強いのは素晴らしいことだけど、肩に力が入りすぎるとアイデアも浮かばないよ」「仲間なんだから遠慮しないで」「チームプレーよ、あなたがリーダー、何でも言って

ね」と、アルバイト仲間や正社員の皆さんが次々に声を掛けてくれたのです。



めたことが心に残りました。責任感を持って仕事に取り組むのは当然ですが、一人一人が互いのことを思い、大切にすることを学生時代に体験できたことは、私にとって大きな財産になりました。社会人となってからも私の仕事の原点はあの学生時代のイベントの企画です。互いに信頼し合い助け合うことで、個々の力の合計以上の成果が上がります。いつのときも、どの場所でも、協力し合える仲間たちの存在が、何より大切だと思います。

「ありがとうございます」と涙が止まりませんでした。私なりの努力を認めてくれた上で、仲間として先輩として親身なアドバイスをしてくれたのです。肩の力がスーッと抜けていきました。すると、あれほど苦しいアルバイトが、皆さんの協力のおかげでイベントは無事終了しました。私はイベントの成功よりも、職場の皆さんとチームプレーで取り組

とれたて! なばり2016

日時 11月12日(土)・13日(日) 午前9時30分～午後3時30分 ※雨天決行

場所 市役所市民広場、1階市民ロビー、消防本部広場ほか



12日(土)・13日(日)両日開催

- 地元でとれた新鮮な野菜の即売
- 原木しいたけの販売
- JA まつり (農機具の展示・販売、青果物・海産物の販売、伊賀米特売 など)
- 国津みそ、手作りこんにやくの販売 など

※開催内容は予告なく変更する場合があります。

12日(土)のみ開催

- 鹿肉・シシ肉の振る舞い (名張市猟友会)
- 消防フェスティバル (アンシンダーショーや、はしご車と綱引き など)
- 大和 幸司歌謡ショー など

13日(日)のみ開催

- シャインマスカットアイスの試食 (300個)
- 農産物クイズ大会 ■ 野菜品評会 など

12日はお絵かきできるバスも来るよ!



※当日は、シャトルバスが巡回します。(HOS名張アリーナ ⇄ 市役所 ⇄ 名張の湯) ※お車でお越しの場合は、市役所、名張の湯、HOS名張アリーナをご利用ください。

園 とれたて! なばり 2016 実行委員会 (農林資源室) ☎63・7625

11月の献血
 問 医療福祉総務室 ☎63・3913

日時 11月12日(土) 午前10時～正午、午後1時30分～3時30分
 場所 市役所 (とれたて! なばり会場内)

広告

瓦屋根設計コンクール 第16回賞金受賞
 亀山市立関中学校校舎

きれい屋根! 瓦
 ホームページリニューアルしました

免勝 検索
 http://www.kawarasho.jp

〒518-0752
 三重県名張市蔵持町原出581
 TEL0595-61-2204 FAX0595-62-0250
 Email katsuyoshi@kawarasho.jp

広告

観光大使に「私立應南学院高等部」

大阪などで活動中のボーカルユニット「私立應南学院高等部」の皆さんが、10月9日、名張市観光大使に就任しました。任期は平成31年10月8日までの3年間で、メンバー3人のうち、2人が名張出身で、今後はイベントなどで名張の魅力をPRしていただきます。

市政トピックス



集団予防接種によりB型肝炎ウイルスに持続感染された方へ、一人で悩まずに無料個別相談会をご利用ください。

B型肝炎訴訟 (給付金請求) について

無料個別相談会

日程・会場
 11/19 (土) 名張産業振興センターASPIA 会議室C 名張市南町822-2 ☎0595-63-0080
 11/20 (日) 伊賀市文化会館 会議室 伊賀市西明寺3240-2 ☎0595-24-7015

対象者 昭和16年7月2日～昭和63年1月27日生まれ ※ご遺族の方も給付金請求できます

給付金 50万円～3,600万円 ※病態に応じて給付金等の内容が異なります

弁護士費用 着手金・相談料 無料 成功報酬制 ※訴訟実費別途

完全予約制 ☎0120-013-621 (ご予約受付時間) 平日9:00～18:00

個別面談なので、他の方と顔を合わせることはありません。

弁護士法人 プレシャス総合法律会計事務所
 弁護士 豊庭亨一(あいは こういち)東京弁護士会所属 登録番号35029
 東京都新宿区四谷4-3 福屋ビル6-A 【営業時間】 平日 9:00～18:00
 ☎TEL 03-5363-6333 ☐E-mail: info@precious-law.jp
 ☐FAX 03-5363-6334 ☐http://precious-law.jp/

無料電話相談も 同時受付中! お気軽にお電話下さい。